



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 進一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,018	△41.8	△1,107	—	△935	—	△816	—
2022年3月期第3四半期	8,624	4.5	537	84.0	630	144.2	369	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △458百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 534百万円(176.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△59.35	—
2022年3月期第3四半期	26.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,115	10,564	51.4
2022年3月期	17,371	11,298	64.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,341百万円 2022年3月期 11,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△10.1	200	△55.2	350	△51.2	200	△57.9	14.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	14,200,000株	2022年3月期	14,200,000株
2023年3月期3Q	451,649株	2022年3月期	451,649株
2023年3月期3Q	13,748,351株	2022年3月期3Q	13,913,951株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、世界的な半導体不足及び原油高の影響が顕在化してきた中で、ウクライナ情勢の緊張が長期化し、先行きの懸念が極めて強まっている状況となっております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は縮小の傾向を見せているものの、今後の再拡大も懸念されるため、先行き不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、世界的な半導体不足及び原油高の影響のみならず、部品等の供給不足の影響を受けており、企業の設備投資も弱含んだ状況が続いております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当第3四半期連結累計期間において堅調に推移しており、当社の主力顧客である中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いております。

また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、電動化の推進やカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いておりますが、半導体不足や各種素材の価格高騰や供給不足などの懸念材料もあるため、設備投資については実施時期を慎重に検討されております。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や、国内自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。また、高額受注としましては、国内の官公庁向けの震度情報ネットワークシステム更新のための地震計の受注（当第4四半期売上検収予定）を獲得しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高50億1千8百万円（前年同四半期比41.8%減）、営業損失11億7百万円（前年同四半期は5億3千7百万円の利益）、経常損失9億3千5百万円（前年同四半期は6億3千万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失8億1千6百万円（前年同四半期は3億6千9百万円の利益）となりました。

売上高につきましては、部品等の供給不足に伴う製品製造期間の長期化や、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先との納期調整や海上輸送船舶及びコンテナ不足に伴う輸出待ちは継続しており、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上検収が減少したことや、国内向けの電気サーボモータ式振動試験機の売上検収が減少したため、前年同四半期と比較して減少しております。利益面につきましては、減収の影響により、前年同四半期と比較して減少しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本（国際計測器株式会社）]

主に海外向けバランスングマシン及び国内向け電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少したため、全体として出荷・検収は減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	36億6千1百万円（前年同四半期比52.2%減）
経常損失	9億7千1百万円（前年同四半期は8億5千8百万円の利益）

[日本（東伸工業株式会社）]

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	1億4千万円（前年同四半期比40.5%減）
経常損失	3千1百万円（前年同四半期は3百万円の利益）

[米国]

米国のタイヤメーカーへのバランスングマシン及び自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加いたしました。また、売上原価が増加いたしました。

その結果、売上高は増加したものの、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	4億9千7百万円（前年同四半期比69.2%増）
経常損失	1億3千1百万円（前年同四半期は8千8百万円の損失）

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。また、売上原価が減少いたしました。

その結果、売上高は減少したものの、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	9億7千3百万円（前年同四半期比2.2%減）
経常利益	7千3百万円（前年同四半期比32.3%増）

[中国]

中国国内のタイヤメーカーへのバランスングマシン及び自動車関連メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益となりました。

売上高	7億9千4百万円（前年同四半期比112.6%増）
経常利益	6千7百万円（前年同四半期は2千8百万円の損失）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、201億1千5百万円（前連結会計年度末比27億4千3百万円増）となりました。これは、売上債権の回収や売上の減少により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比5億7千4百万円減）したものの、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比9億8千7百万円増）したことや第4四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比17億1千万円増）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、95億5千万円（前連結会計年度末比34億7千7百万円増）となりました。これは、課税所得の減少により未払法人税等が減少（前連結会計年度末比1億5千3百万円減）したものの、仕入が増加したことにより支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比9億7千6百万円増）したことや受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比5億4千3百万円増）したこと及び運転資金拡充のため借入を実行したことにより1年内返済予定の長期借入金が増加（前連結会計年度末比7千1百万円増）したこと及び長期借入金が増加（前連結会計年度末比22億3千2百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、105億6千4百万円（前連結会計年度末比7億3千3百万円減）となりました。これは、為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比3億2千7百万円増）したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比10億9千万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2023年2月9日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,453,522	6,441,453
受取手形及び売掛金	3,208,895	2,634,276
商品及び製品	636,721	864,266
仕掛品	1,841,569	3,552,026
原材料及び貯蔵品	657,087	797,080
その他	346,812	749,558
貸倒引当金	△3,348	△6,662
流動資産合計	12,141,259	15,032,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,119,108	3,127,215
機械装置及び運搬具	229,484	239,330
土地	1,305,594	1,307,213
リース資産	3,036	3,036
その他	305,451	374,517
減価償却累計額	△1,961,924	△2,059,622
有形固定資産合計	3,000,749	2,991,690
無形固定資産		
その他	61,247	55,069
無形固定資産合計	61,247	55,069
投資その他の資産		
投資有価証券	373,011	339,199
繰延税金資産	63,257	175,975
保険積立金	1,309,773	1,175,875
その他	667,221	712,113
貸倒引当金	△244,559	△366,199
投資その他の資産合計	2,168,704	2,036,964
固定資産合計	5,230,701	5,083,724
資産合計	17,371,961	20,115,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,340	2,298,637
短期借入金	1,432,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	474,186	545,880
未払法人税等	218,122	64,728
賞与引当金	87,536	58,788
製品保証引当金	132,888	64,113
前受金	961,427	1,504,781
その他	372,455	378,488
流動負債合計	5,000,956	6,315,418
固定負債		
長期借入金	570,668	2,802,738
繰延税金負債	103,524	-
役員退職慰労引当金	167,696	174,656
退職給付に係る負債	213,150	216,752
資産除去債務	17,960	18,178
その他	-	23,256
固定負債合計	1,072,999	3,235,581
負債合計	6,073,956	9,550,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	9,036,725	7,945,726
自己株式	△327,223	△327,223
株主資本合計	10,669,002	9,578,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219,527	196,006
為替換算調整勘定	239,763	567,375
その他の包括利益累計額合計	459,291	763,382
非支配株主持分	169,711	223,340
純資産合計	11,298,005	10,564,724
負債純資産合計	17,371,961	20,115,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	8,624,123	5,018,096
売上原価	5,751,802	3,875,911
売上総利益	2,872,320	1,142,185
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	98,725	9,022
貸倒引当金繰入額	69,270	124,890
役員報酬	293,327	257,477
給料手当及び賞与	605,189	611,852
賞与引当金繰入額	18,938	25,386
退職給付費用	18,198	17,816
役員退職慰労引当金繰入額	6,760	6,960
運賃	289,565	183,904
減価償却費	22,989	25,764
研究開発費	36,064	94,663
その他	875,675	891,493
販売費及び一般管理費合計	2,334,705	2,249,232
営業利益又は営業損失(△)	537,615	△1,107,046
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,720	62,008
為替差益	73,948	109,869
その他	10,092	28,726
営業外収益合計	107,760	200,604
営業外費用		
支払利息	9,389	14,046
売上債権売却損	784	1,875
保険解約損	1,072	9,971
その他	4,070	3,530
営業外費用合計	15,316	29,424
経常利益又は経常損失(△)	630,059	△935,865
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	630,059	△935,865
法人税、住民税及び事業税	266,437	43,137
法人税等調整額	△15,749	△193,142
法人税等合計	250,687	△150,004
四半期純利益又は四半期純損失(△)	379,372	△785,860
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,395	30,171
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	369,976	△816,032

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	379,372	△785,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,345	△23,521
為替換算調整勘定	88,739	351,068
その他の包括利益合計	155,084	327,547
四半期包括利益	534,456	△458,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	531,685	△511,941
非支配株主に係る四半期包括利益	2,771	53,628

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、ASC第842号「リース」を適用しております。

これにより、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産は有形固定資産の「その他」が53,537千円、リース負債は流動負債の「その他」が22,386千円、固定負債の「その他」が31,150千円、それぞれ増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
バランスिंगマシン	5,169,557	—	36,732	347,608	143,897	5,697,795	5,685	5,703,481
電気サーボモータ式振動試験機	1,408,465	—	54,155	129,051	—	1,591,672	—	1,591,672
材料試験機	—	217,890	—	—	—	217,890	—	217,890
シャフト歪自動矯正機	174,692	—	—	45,208	26,932	246,833	—	246,833
その他	508,726	—	188,915	51,276	91,381	840,300	23,945	864,245
顧客との契約から生じる収益	7,261,440	217,890	279,804	573,145	262,212	8,594,491	29,631	8,624,123
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,261,440	217,890	279,804	573,145	262,212	8,594,491	29,631	8,624,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	398,821	18,900	14,204	422,197	111,419	965,542	99,707	1,065,250
計	7,660,261	236,790	294,008	995,342	373,631	9,560,034	129,338	9,689,373
セグメント利益又は損失(△)	858,693	3,281	△88,987	55,531	△28,628	799,890	41,148	841,039

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	799,890
「その他」の区分の利益	41,148
セグメント間取引消去等(注)	△210,979
四半期連結損益計算書の経常利益	630,059

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,511千円含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマシン	2,392,337	—	176,556	271,397	411,697	3,251,989	15,288	3,267,278
電気サーボモータ式振動試験機	356,637	—	95,446	130,358	61,324	643,767	4,491	648,258
材料試験機	—	121,947	—	—	—	121,947	—	121,947
シャフト歪自動矯正機	106,441	—	—	58,788	32,958	198,187	25,279	223,466
その他	454,417	—	100,730	82,798	54,581	692,527	64,617	757,145
顧客との契約から生じる収益	3,309,833	121,947	372,733	543,342	560,562	4,908,419	109,677	5,018,096
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,309,833	121,947	372,733	543,342	560,562	4,908,419	109,677	5,018,096
セグメント間の内部売上高又は振替高	351,942	18,974	124,615	430,321	233,908	1,159,760	127,015	1,286,776
計	3,661,775	140,921	497,348	973,664	794,470	6,068,180	236,693	6,304,873
セグメント利益又は損失(△)	△971,532	△31,172	△131,956	73,494	67,921	△993,244	84,870	△908,374

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△993,244
「その他」の区分の利益	84,870
セグメント間取引消去等(注)	△27,491
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△935,865

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が52,794千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

区 分	生産高（千円）	前年同四半期比（%）	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,314,960	△41.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	689,416	△56.7	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	223,466	△9.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	121,947	△44.0	日本(東伸)
その他	668,307	△22.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,018,096	△41.8	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

区 分	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,571,145	+15.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,670,006	+90.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	581,656	+79.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	235,519	△27.5	日本(東伸)
その他	1,892,447	+107.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,950,774	+39.5	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第3四半期連結累計期間末（2022年12月31日）

区 分	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	6,916,859	+31.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,677,071	+65.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	792,023	+134.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	187,917	+22.7	日本(東伸)
その他	1,234,059	+1,744.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	11,807,930	+58.5	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

区 分	売上高（千円）	前年同四半期比（%）	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,314,959	△41.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	689,415	△56.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	223,466	△9.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	121,947	△44.0	日本(東伸)
その他	668,307	△22.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,018,096	△41.8	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。